

防災設備——防災無線の 整備及び防災避難指示板

静岡県中西部地域では、9月23日～24日の台風15号による大雨で、大規模な浸水、越水、土砂崩れが発生し、停電、断水、床上浸水などの被害が発生しました。神奈川県内では、小田原市、中井町、横浜市、鎌倉市、逗子市に土砂災害警戒情報が出されました。横浜市と鎌倉市は避難指示を発令し、崖近くの住民らに安全確保を呼びかけました。

【はすもと】

防災無線の全戸整備についてどのように考えていますか。
三浦市独自の防災避難表示の募集すること
をこの際提案したいと思います。これにつ
いての市の考えをうかがいます。

【防災担当部長】

防災行政無線放送には、建物の構造や、大雨、強風などの気象状況によっては聞こえにくいというデメリットがあります。これを補完するため、スマートフォンや携帯電話



話に防災行政無線の放送内容をメールで届ける、三浦市防災情報メールサービスを提供しています。防災行政無線放送を屋内で聞くことができ
るサービスをケ
ブル放送会社が提

供していることもあり、戸別受信機を全戸に整備する予定はありません。

既存の避難地案内板や、標高標示シールなど、防災関連の案内板等については経年劣化が見られるものがあります。

市民や観光客の皆さまの安全を確保するため、これまでの案内板などによる誘導のほか、デジタル技術を用いた誘導の検討を行っていきたいと考えており、その際には三浦市の独自のデザインを取り入れることも考えられます。

農業・水産業振興—— 海外への輸送・販路拡大

三浦市の新規就農者（親元の跡取り）は、神奈川県全体のほぼ半数を占めています。三浦市は、神奈川県だけでなく関東でも重要な農作物の生産拠点です。

三浦市の農業、水産業の新規参入者への支援、農産物の海外輸出について質疑しました。

【はすもと】

新規就労、新規参入に対しての行政の支援施策についてうかがいます。

【経済部長】

国や県において、各種就農支援のメニューが準備されています。就農準備型、経営開始型という名称で補助支援があり、新規就農後の借入れ時の無利子融資などの制度もあります。

また、神奈川県農業アカデミーでは、決められた期間農業の基礎を学ぶ場が整備され

ているほか、新規就農前に準備を整えることができる制度もあります。

【海業水産担当部長】

後継者不足の解消や漁業への新規就労促進のために、神奈川県では漁業の担い手育成として、漁業士の認定・指導や漁業士の育成のための技術研修会を開催しています。なお、かながわ漁業就業促進センターでの新規就業を目指す方を対象とした研修で、三浦市の市場管理事務所の職員が市場取引の仕組みなどについて講義を行っています。

【はすもと】

静岡県において、国土交通省と農林水産省が、農林水産物の海上輸送に関する実証試験に取り組んでいると聞いていますが、その内容と期待されることについてうかがいます。

【経済部長】

海上輸送試験ではモデル地域として清水港及び静岡県、長野県、山梨県を選定、令和3年度に開通した中部横断道を活用し、産地と清水港間の時間・距離の大幅短縮を盛



り込んだ実証実験に取り組んでいます。令和3年、国が産地・港湾連携型農林水産物・食品輸出促進計画を認定しました。この計画では、清水港を利用した農産物輸出のターゲットとする国・地域として、台湾、香港、シンガポール、マレーシアを対象として選定しています。

この実証実験に基づき海外販路が確立された際には、中距離集荷圏である三浦市はとて有効な販路になると考えています。現在、海上輸送試験、鮮度保持試験など、農水産物の輸出に関する実証実験が行われている段階ですが、実証実験結果を検証し、関東農政局神奈川拠点、神奈川県、三浦市農業協同組合と連携を密に取りながら、三浦市農産物の新たな販路としての活用ができるよう積極的に働きかけていきます。

はすもとといちろうは、
みなさまのご要望を
市政に反映させてまいります。
ご意見・ご要望を遠慮なく
お寄せください。

令和4年第4回定例会(12月議会)は、
令和4年12月1日から行われます。

●議会インターネット中継

三浦市トップページ>市政情報>

三浦市議会>傍聴のご案内>

定例会の予定(第4回)